

2025年11月号
Vol. 243

arch-tsushin

あーち通信



越智先生の「親子でふれあい体操」

日時：11月14日（金）11:00～

場所：こらぼ・あーち



バランスをとる、力の入れ具合がわかる、からだの上手な動かし方を知ることで、運動が楽しくなります。子育てに役立つヒントが見つかるかも！動きやすい服装でお越しください。

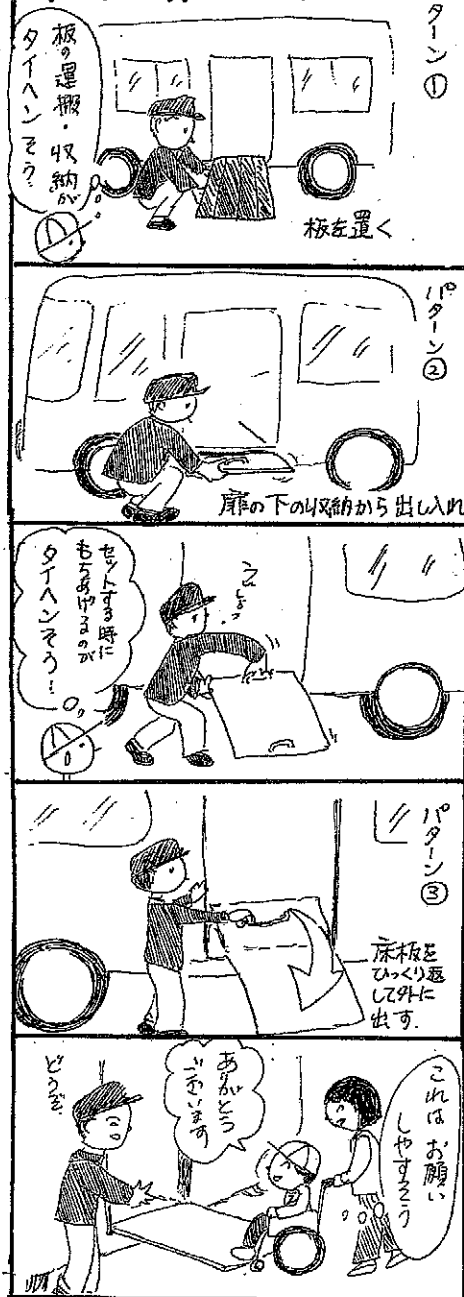
講師：越智正篤（フィールド・オブ・ゆう代表取締役）

長年、地域の保育園・幼稚園で運動遊びの指導を行い、神戸、芦屋、西宮などで、保育士・教員への講演、指導も行う。

NPO 法人S-space 理事長、神戸市子ども子育て会議委員 他

えんじえる君II さん

市バスのスロープ



Message
from U.S.A.~

こちらで書かせていただいているコラムですが、今月はネタ切れなんです。ネタ切れは、英語で“run out of ideas”です。なので、今の私は“I’ve run out of ideas to talk about.”「話のネタが切れています。」です。

“run out of~”は、「~を使い果たす」「~を切らす」という意味で、~の部分に切らしたものをいれることで表現できます。「あっ、卵をさらしてるわ。」なら、“Ah, we have run out of eggs.”「トイレトペーパーがきれてるわ。」なら、“We have run out of toilet paper.”「ごめん。もうすぐ携帯の充電がきれるわ。」は、“Sorry! My phone is running out of battery soon.”と言えます。また、“Sorry! My battery’s dying.”もよく使われます。そして、私は明日に備えて自分に充電をします。I’m recharging for tomorrow.

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

11月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	土		あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー あらかると音楽あそび 14:30~15:00
2	日	休 館	
3	月		
4	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
5	水	月イチwith 10:30~12:00	
6	木		健康あーち(相談) 午前中
7	金	よる・あーち 17:00~19:20	
8	土	おはなしの国 11:00~11:30 ギフテッド寺子屋KOBÉ 13:00~16:00 ※ゆーす	
9	日	休 館	
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00
14	金	越智先生の「親子でふれあい体操」 11:00~ よる・あーち 17:00~19:20	
15	土	プラレール広場 10:30~16:00	
16	日	休 館	
17	月		
18	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
19	水		保健師さんとお話ししましょう 11:00~12:00
20	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00
21	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
22	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
23	日	休 館	
24	月		
25	火		ふらっとリトミック 11:00~11:30
26	水		
27	木		
28	金	よる・あーち 17:00~19:20	
29	土	プラレール広場 10:30~16:00	
30	日	休 館	

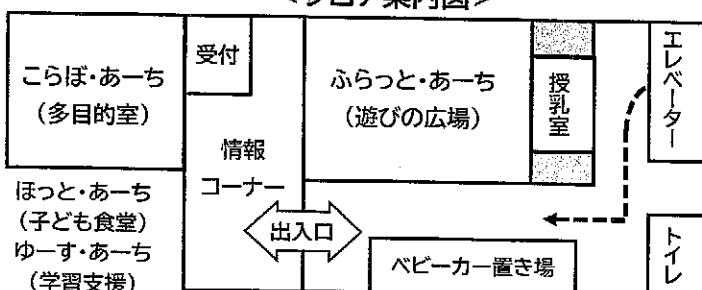
- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。

また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

助産師：水曜(午前)・木曜(午後)・土曜
保健師・保育士：不定期

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

- ★あーちクローゼット・・・着なくなったこども服を持参ください。他の服と交換できます。(持ち込みのみ可)
- ★あーち人形劇団「むー」・・・自分の好きなこと、できることを持ち寄って、一緒に人形劇遊びをしませんか？
- ★あらかると音楽あそび・・・手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院・・・ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

- ★ギフトド寺子屋 KOBE・・・ギフトドのこどものための居場所です。保護者同士の情報交換もできます。
- ★健康あーち(相談)・・・大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith・・・参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★ふらっと リトミック・・・リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場・・・広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ・・・赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★保健師さんとお話ししましょう・・・保健師が月1回、健康に関するお話しをします。個別のご相談もどうぞ。
- ★よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA・・・肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。

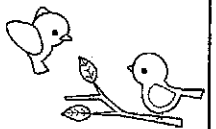
<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)

※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。

金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



「もりのてぶくろ」

作:八百板洋子

絵:ナターリヤ・チャルーシナ

福音館書店 2010年9月発行



眺めているだけで楽しめる、まさに「絵本」です。

秋めく森の中、小さな手を広げたような一枚の落ち葉に、森の動物たちが自分の手を重ねて、「大きすぎる」「小さすぎる」と言っては、通り過ぎていきます。このシンプルなお話を美しい絵が彩ります。きれいな色の木の実やきのこ。見開きいっぱい描かれた動物たちの毛並みは手触りまで伝わってきそうです。

そして、誰もいなくなった森の中を、お母さんと男の子が通りがかり、男の子が自分の手を落ち葉に重ねると……。紅葉の季節、自分にぴったりの落ち葉を探して散策するのも楽しそうですね。

(あーちスタッフ 山名)

かめのえんそく

●●●●●●●● 今年の夏楽しかったこと ●●●●●●●●

今年の夏は暑かった。「熱中症警戒アラート」という言葉ももうすっかり馴染みの言葉になり、多くの学校や福祉施設で、外での活動を可能な限り控えるという日が続いたのではないかなと思う。思う存分外で遊べなくなる夏がやって来るなんて思っていなかった。

そんな夏の、職場の子どもたちとの思い出を振り返ってみると(第1回で少しお伝えしたのだが、私は今、障害のある子どもたちが通う児童福祉施設で働いている)、外ではあまり遊べなかったが、楽しい夏だったなと思う。夏ならではのことも色々やった。その中でも、なんだか非常に印象に残っている活動が、流しそうめんだ。なぜ印象に残っているのか。それは、きっと自分の中にある「何か」が、子どもたちとの活動の中で緩んでいくことを感じたからなのではないかなと思う。今回はそんな私の、『今年の夏楽しかったこと日記』を書かせてもらえたらと思う。

流しそうめんの活動は、まず、近くの竹藪に竹を切りに行き、小学生の男の子とふらりと遊びに来た高校生の男の子と一緒に必死に運んだ。竹は4メートルほどあったので、みんなで前を見たり後ろを見たりきよきよしながらやっとのことで運んだ。そんな竹を、スタッフの一人が切り、節を取ってくれて、流しそうめんのための竹の部品が出来上がった。(本当は子どもたちと一緒に作るはずだったのだが、みんなスタッフが頑張る様子を眺めるばかりで切ってはくれなかった。笑)子どもたちは思い思いにその竹を繋げてコースを作った。ある日は外で、バケツやベンチを支えにして。ある日は中で、こたつ机を使って。

そんなある日、1人の子が提案したのは、階段に竹を置き、階段で流しそうめんをするというアイデアだった。私の職場は、古い家を改築して作られた建物で、階段も昔ながらの急な木造の階段だ。そこに竹を置くと、それはもはや、流しそうめんではなく「落としそうめん」だった。誰もそうめんを取ることができず、水が階段に飛び散る未来が見えて、「え～できるかな?」という言葉がすぐそこまで出てきたけれど飲み込んだ。

そうしてできた流しそうめん…落としそうめんでは、

子どもたちが上から順に階段に座り、そうめんを待った。私は階段の真ん中で、あまりに急で固定することができなかった竹を押さえる役だったのだが、上も下も、真剣にそうめんを待つ子どもたちの姿で、ふふっと笑ってしまった。ちなみに、この時のメンバーは、お互いの「楽しい」が重なり、一緒に過ごすこともあるが、基本的には、みんなでいつも遊んでいるわけではなく、普段は、それぞれがそれぞれのやりたいことをして過ごしている子どもたちだった。

結局そうめんは本当に、“流れる”のではなく“落ちた”。あまりのスピードに、私の上でも下でも、子どもたちが「くくくつ」と笑う。一気に流れ落ちていくそうめんの行方を、みんなが目で追いかける。中々取れないものだから、みんながそうめんを求めて上へ上へと階段を上がっていき、最後は、階段の上の方にぎゅっと子どもたちが集まっていた。子どもたちは真剣で、でも「くくくつ」と笑っていた。

中々そうめんは取れなかったのだから、流しそうめんとして成功かと言われると、そうではないのかもしれない。しかし、「こんなところで流しそうめん…?」と思いつきながら、思わずみんなで「くくくつ」と笑い、思わず目でそうめんを追いかけて、みんなの視線や笑いが交わったり、離れたりする。そんなあの空間が私にとってはとても楽しいと感じるものだった。色々な「思わず」が、自然につながりを生み出し、「くくくつ」の空間をつくっていた。それがなんとも心地よく、なんとも楽しかったのだ。

私自身は、何でも慎重すぎて、なかなか前に進めず、結局先々のことを考えて「やっぱり辞めよう」と辞めてしまうことが多い。子どもたちに失敗を恐れないでほしいな、一見無駄に思うような時間も大切にしたいなと思いつつも、自分も失敗を恐れているし、「〇〇のために～する」というように目的に合ったことをしたいと考えている。自分でそれらを緩めたいと思っても、なかなかうまくいかない。子どもたちと遊ぶ時間は、私にとって、自分の中に形作られてきたものを緩めてもらっている時間なのだと思う。

(あじさい)